



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 テーデーエフ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5641 URL <http://www.tdforge.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐々木 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 三浦 文男 (TEL) 0224 (52) 7061  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,969	72.3	227	—	270	—	232	—
22年3月期第1四半期	2,883	△52.2	△381	—	△399	—	△391	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	14	68	—	—
22年3月期第1四半期	△24	69	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	18,525		6,299		34.0	397	65	
22年3月期	18,160		6,144		33.8	387	89	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 6,299百万円 22年3月期 6,144百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期（予想）	—	—	0	00	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	10,000	48.2	300	—	340	—	140	—	8	84
通期	19,500	20.9	460	—	520	—	220	—	13	89

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

※平成22年8月6日に上記修正をしております。

4. その他（詳細は、[添付資料] P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー 社 ( ー )、除外 ー 社 ( ー )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期 1 Q	15,885,928株	22年3月期	15,885,928株
23年3月期 1 Q	44,636株	22年3月期	44,482株
23年3月期 1 Q	15,841,349株	22年3月期 1 Q	15,842,295株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかに回復しつつあり、企業収益や業況感の改善を背景に設備投資の動向も持ち直しに転じつつあります。

当社グループの主要取引先であります自動車業界は、各種の減税効果による小型車を中心とした乗用車需要の回復と、トラック関連についてもアジア地域向け輸出を中心とした好調な販売を受け、国内では内需、輸出向けが復調の気配を見せており、需要環境は回復傾向となっております。

このような状況下、連結業績につきましては、売上高49億69百万円（前年同四半期比20億85百万円増、72.3%増）、営業利益2億27百万円（前年同四半期連結会計期間は営業損失3億81百万円）、経常利益2億70百万円（前年同四半期連結会計期間は経常損失3億99百万円）、四半期純利益2億32百万円（前年同四半期連結会計期間は四半期純損失3億91百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産合計額は、82億94百万円となり、前期比5億72百万円の増加（7.4%増）となりました。これは、主に受注増加に伴う受取手形及び売掛金の増加、原材料及び仕掛品が増加したこと等によります。

固定資産合計額は、102億30百万円となり、前期比2億7百万円の減少（2.0%減）となりました。これは、主に新規設備投資を抑制したことによります。

流動負債合計額は、81億86百万円となり、前期比1億94百万円の増加（2.4%増）となりました。これは、主に借入金返済による短期借入金残高は減少したものの、受注の増加による仕入債務が増加したこと等によります。

固定負債合計額は、40億39百万円となり、前期比15百万円の増加（0.4%増）となりました。これは、主に長期借入金及び長期未払金は減少したものの、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したこと等によります。

純資産の合計額は、62億99百万円となり、前期比1億54百万円の増加（2.5%増）となりました。これは、主に四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したことによります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結通期業績予想につきましては、平成22年8月6日に業績予想の修正を公表しております。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間の棚卸高の算出に関しては実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ132千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、28,996千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は34,806千円であります。

#### 表示方法の変更

前第1四半期連結会計期間において、営業外費用の「休止固定資産減価償却費」は、営業外費用総額の100分の20以下となったため、当第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示することとしました。なお、当第1四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「休止固定資産減価償却費」は119千円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,789,850	1,563,468
受取手形及び売掛金	3,457,559	3,364,254
商品及び製品	149,851	139,973
仕掛品	932,886	902,162
金型	620,051	628,136
原材料及び貯蔵品	981,090	851,363
繰延税金資産	23,313	15,363
その他	340,289	258,032
貸倒引当金	△380	△358
流動資産合計	8,294,511	7,722,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,632,382	3,622,170
減価償却累計額	△1,813,804	△1,782,757
建物及び構築物(純額)	1,818,577	1,839,413
機械装置及び運搬具	16,750,643	16,753,934
減価償却累計額	△11,802,665	△11,600,173
機械装置及び運搬具(純額)	4,947,977	5,153,761
土地	1,494,707	1,496,577
その他	1,784,877	1,749,490
減価償却累計額	△1,478,814	△1,451,800
その他(純額)	306,063	297,689
有形固定資産合計	8,567,325	8,787,441
無形固定資産		
借地権	16,676	16,676
施設利用権	2,249	2,254
ソフトウェア	27,924	29,668
無形固定資産合計	46,850	48,599
投資その他の資産		
投資有価証券	1,538,528	1,521,366
その他	80,301	82,704
貸倒引当金	△2,075	△2,075
投資その他の資産合計	1,616,753	1,601,995
固定資産合計	10,230,929	10,438,036
資産合計	18,525,441	18,160,433

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,563,785	4,211,452
短期借入金	2,150,360	2,408,060
未払法人税等	25,439	16,019
未払消費税等	54,490	144,490
賞与引当金	304,926	203,946
設備関係支払手形	139,128	112,760
その他	948,554	895,121
流動負債合計	8,186,684	7,991,851
固定負債		
長期借入金	2,739,060	2,769,150
繰延税金負債	106,758	95,774
退職給付引当金	819,343	798,620
資産除去債務	34,860	—
長期未払金	329,653	360,338
その他	9,776	—
固定負債合計	4,039,452	4,023,883
負債合計	12,226,137	12,015,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,694,767	1,694,767
資本剰余金	1,327,996	1,327,996
利益剰余金	3,278,296	3,045,807
自己株式	△13,907	△13,883
株主資本合計	6,287,153	6,054,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	77,678	109,889
為替換算調整勘定	△65,527	△19,880
評価・換算差額等合計	12,150	90,009
純資産合計	6,299,304	6,144,698
負債純資産合計	18,525,441	18,160,433

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,883,103	4,969,023
売上原価	3,114,265	4,556,654
売上総利益又は売上総損失(△)	△231,161	412,368
販売費及び一般管理費		
発送運賃	40,586	60,927
貸倒引当金繰入額	19	22
給料及び手当	60,255	71,890
賞与引当金繰入額	4,299	6,957
退職給付引当金繰入額	1,011	880
その他	43,905	44,492
販売費及び一般管理費合計	150,076	185,170
営業利益又は営業損失(△)	△381,238	227,198
営業外収益		
受取利息	582	37
受取配当金	4,048	3,744
持分法による投資利益	29,249	73,578
その他	4,093	2,837
営業外収益合計	37,973	80,197
営業外費用		
支払利息	16,374	21,859
支払手数料	19,549	8,344
休止固定資産減価償却費	15,846	—
その他	4,088	6,359
営業外費用合計	55,857	36,563
経常利益又は経常損失(△)	△399,122	270,833
特別利益		
過年度損益修正益	25,917	17,279
固定資産処分益	—	4,376
特別利益合計	25,917	21,656
特別損失		
固定資産処分損	9,023	9,238
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,864
特別損失合計	9,023	38,103
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△382,228	254,386
法人税、住民税及び事業税	1,015	20,633
法人税等調整額	7,847	1,264
法人税等合計	8,862	21,897
少数株主損益調整前四半期純利益	—	232,488
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△391,091	232,488



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△382,228	254,386
減価償却費	295,704	301,707
賞与引当金の増減額(△は減少)	96,618	100,979
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19	22
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18,796	20,722
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△52,716	—
受取利息及び受取配当金	△4,630	△3,782
支払利息	16,374	21,859
持分法による投資損益(△は益)	△29,249	△73,578
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,864
その他の営業外損益(△は益)	9,994	△39
有形固定資産処分損益(△は益)	9,023	4,861
売上債権の増減額(△は増加)	△220,211	△93,305
たな卸資産の増減額(△は増加)	48,531	△162,243
仕入債務の増減額(△は減少)	△156,113	352,332
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,649	△90,000
その他の資産・負債の増減額	85,256	△53,101
その他	△25,917	△17,279
小計	△276,097	592,406
利息及び配当金の受取額	4,630	3,782
利息の支払額	△18,552	△7,304
法人税等の支払額	△1,373	△11,213
その他の支出	△10,276	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△301,670	577,670
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,000	△225,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△412,716	△65,042
有形固定資産の売却による収入	471	6,407
無形固定資産の取得による支出	△15,645	△658
投資有価証券の取得による支出	△2,398	△2,391
長期貸付けによる支出	△900	△1,802
長期貸付金の回収による収入	150	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△431,038	△268,337
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,040,000	△80,000
長期借入金の返済による支出	△225,084	△207,790
その他	△68	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	814,847	△287,951

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	82,138	21,381
現金及び現金同等物の期首残高	775,771	1,543,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 857,909	※ 1,564,850

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

当社グループは鍛工品の製造と販売に係る事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。